



各位

会 社 名 JBCCホールディングス株式会社 代表者名 代表取締役社長 東 上 征 司 (コード番号 9889 東証プライム) 問合せ先 取締役管理担当 浅 利 信 治 (TEL 03-6262-5733)

(訂正) グループ内組織再編に関するお知らせ の一部訂正に関するお知らせ

2025年1月6日に公表いたしました「グループ内組織再編に関するお知らせ」につきまして、一部訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

グループ内組織再編に関するお知らせの提出後に、記載内容の一部に誤りがある事が判明いた しましたので、これを訂正するものです。

2. 訂正の箇所及び内容 訂正の箇所には下線を付しております。

【訂正箇所】

3. 合併当事会社の概要(2025年1月6日現在)

訂正後の全文は以下の添付文書をご参照ください。





各位

会 社 名 JBCCホールディングス株式会社 代表者名 代表取締役社長 東 上 征 司 (コード番号 9889 東証プライム) 問合せ先 取締役管理担当 浅 利 信 治 (TEL 03-6262-5733)

グループ内組織再編に関するお知らせ

当社は、本日付けの取締役会決議において、2025年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社であるJBCC株式会社(以下、JBCC)及びJBアドバンスト・テクノロジー株式会社(以下、JBAT)が合併することを決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本件は適時開示基準には該当していませんが、有用な情報と判断して任意開示を行うものです。

記

1. 合併の目的

JBATは、グループ内でメーカーとしての役割を担い、サイボウズ社の製品である「kintone」の機能を拡張するプラグイン「ATTAZoo」、生産管理システム「R-PiCS」、クラウドデータ連携サービス等のソフトウェア開発を中心に事業を展開しています。

当社グループの中核事業会社であるJBCCとの合併により、注力事業領域であるクラウド、超高速開発(SI)、データ&AI において両社の強みを融合し、お客様への提供価値を一層高めることで、グループ全体の事業成長を推進することを目的としています。

2. 合併の要旨

①合併の日程

取締役会決議 2025 年 1 月 6 日 合併契約締結日 2025 年 1 月 6 日 株主総会決議日(JBAT) 2025 年 1 月 6 日

合併期日(効力発生日) 2025年4月1日(予定)

なお、本合併は、JBCCにおいては会社法第 796 条第2項の規定に基づく簡易合併に該当するため、吸収合併契約承認の株主総会を経ずに行うものであります。

②合併の方式

本合併は、JBCCを存続会社、JBATを消滅会社とする吸収合併方式です。

③合併に係る割当ての内容

当社の 100%子会社間の合併であるため、本合併による新株式の発行及び資本金の増加 並びに合併交付金の支払いはありません。

3. 合併当事会社の概要(2025年1月6日現在)

百历日事云性の似英(2023年1月0日死性)		
	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
① 名 称	JBCC株式会社	JBアドバンスト・テクノロジー株
		式会社
② 所 在 地	東京都中央区八重洲二丁目2番1	東京都中央区八重洲二丁目2番1
	号 東京ミッドタウン八重洲 八	号 東京ミッドタウン八重洲 八
	重洲セントラルタワー	重洲セントラルタワー
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 東上 征司	代表取締役社長 籔下 真平
④ 事 業 内 容	企業の情報ソリューションに関連	ハードウェア/ソフトウェア及び生
	するトータルサービスの提供	産管理PKGの開発、製造、販売
⑤ 資 本 金	480 百万円	426.6 百万円
⑥設立年月日	1988年4月1日	1991年10月5日
⑦発行済株式数	10,000 株	8,532 株
⑧ 決	3月31日	3月31日
⑨ 大株主及び持株比率	当社 100%	当社 100%
⑩ 直前事業年度の経営成績及び財政状況		
純 資 産	9,280 百万円	1,173 百万円
総 資 産	20,079 百万円	1,760 百万円
1株当たり純資産	2,007,900円	206, 309 円
売 上 高	48,042 百万円	2,698 百万円
営 業 利 益	3, 193 百万円	11 百万円
経 常 利 益	3,225 百万円	26 百万円
当 期 純 利 益	2,209 百万円	31 百万円
1株当たり当期純利益	220,914 円	3,715円

4. 合併後の状況

本合併後において、存続会社であるJBCCの商号、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業 内容、資本金、決算期につきましては変更ありません。

5. 今後の見通し

本合併は、グループ内組織再編によるものであるため、当社の連結業績に与える影響につきましては軽微であります。

以上